

PFFアワード2014各賞

グランプリ(副賞100万円)、**準グランプリ**(副賞20万円)、**審査員特別賞**(副賞10万円／3作品)、
映画ファン賞(あい映画生活賞)、エンタテインメント賞(ホリプロ賞)、ジェムストーン賞(日活賞)、**NEW観客賞**

特別設置・日本映画ベンクーラ賞

※各賞とも豪華副賞

最終審査員5名は決定次第、HPにて発表します。

第36回 PFF

検索



PFF Award

D



『彼は月へ行った』

19分/カラー

監督: 藤村明世 (23歳/東京都出身)

アポロごっこがおわるとき、はじまるもの

親友・優一を亡くして他人に心を開かなくなった主人公・順は、子供時代に優一と遊んだトランシーバーでのアポロ通信ごっこを独りでいつまでもやっていた。ある日、また学校でこっそりトランシーバーで喋っていると、トランシーバーに謎の返信が…女の声の声だ。とまどう順だったが、やがてその声だけの少女に心を開いてゆく…。



『丸』

89分/カラー

監督: 鈴木洋平 (29歳/茨城県出身)

それは凶報か福音か？丸はやってきた

平凡な一軒家で発生した父子心中未遂事件。父親のみが銃で自殺し、現場にいた次男・鉄男とその恋人・百合子は、その事件以来、文字通り時間が静止してしまう。

記者・出口は独自に調査を進めるうち、不条理極まりない世界へ迷い込む…。それを見ると時間が止まり、世界が歪む。不穏な丸の正体は、観る者の解釈そのもの。

『波伝谷に生きる人びと』

134分/カラー

監督: 我妻和樹 (28歳/宮城県出身)

その土地で生きる困難と、生きる甲斐

海と共に生きる人びとの濃密な小世界。3.11までの3年間、南三陸町の波伝谷部落を一途に追ったドキュメンタリーは、彼らが頑に守り続けてきた共生のあり方にひずみ

が生まれつつある事実を浮かび上がらせる。ほころびは揺れ動く前からあったのだと痛みと共に思い知る。波伝谷は我々と同じ時間軸にあることを忘れてはならない。



『乱波』

5分/カラー

監督: 中島悠喜 (23歳/東京都出身)

愛も、モラルも自由もなく、これぞ忍者の最前線！

5分間の壮絶な忍者軍団vs忍者軍団の死闘！忍者がヤーアクションでも実現困難であろうリアルな忍者バトルが、手描きのアニメーションで次々と実現されてゆく超人的なアクションは実写では撮影不可能！SFXでもワイ

ヤーアクションでも実現困難であろうリアルな忍者バトルが、手描きのアニメーションで次々と実現されてゆく超人的なアクションは実写では撮影不可能！SFXでもワイ



『怪獣の日』

30分/カラー

監督: 中川和博 (27歳/奈良県出身)

映画にするとみえてくる、この国の現実

太平洋沖に出現した怪獣は、自衛隊と米軍による作戦でなんとか活動を停止。その沈黙した未知の巨体は、やがて日本沿岸に漂着する。怪獣の処理をめぐってそ

の町に巻き起こる議論と対立がメタファーであることは明快だ。“3.11”以降に生まれるべくして生まれた、最も真摯で社会派な“怪獣映画”と言えよう！



『沖縄／大和』

98分/カラー

監督: 比嘉賢多 (22歳/沖縄県出身)

僕とあなたを隔てるラインはどこにある？

沖縄に生まれ育った監督は、沖縄と本土の間にある心理的な境界線の存在を仮定し、それを追求するドキュメンタリーの制作を始める。そこで出会う人々の言葉や顔か

ら浮かび上がってくるのは、沖縄と日本本土の政治的な歴史ばかりではなく、豊かな民俗学的考証であり、そこに生きる個々人それぞれが持つ小さな歴史でもある。



『多摩丘陵の熊』

32分/カラー

監督: 岡 真太郎 (29歳/千葉県出身)

冬が過ぎるまで、熊はこんこんと眠る

多摩丘陵に暮らす兄と弟。両親の死後、生家である園地に戻り、人里離れた生活を営んでいた。兄は恋人が浮気相手と旅行中に事故死したことが原因で失声症となる。季節

は冬。弟は兄の回復を待つが…。高台から見晴らす風景、兄弟が興じる釣り、春の光に溶けかけた雪—それらはすべて、自然と共に自由に生き死ぬことを肯定している。



『独裁者、古賀。』

79分/カラー

監督: 飯塚俊光 (33歳/神奈川県出身)

絶対的距離感を壊すには、近づくしかない

希薄な存在感ゆえにクラスのいじられ役である古賀。古賀をかばつたがために、いじめの標的となる女子生徒、副島。二人が惹かれ合う理由は、純粋な恋心か、それとも

も傷の舐め愛か？愛でたぶん世界は変わらない。ならば自分が変わるしかない。きっかけは自己満足ついで副島さんへの想いを証すため、古賀は変われるか？



最終審査員5名は決定次第、HPにて発表します。

第36回 PFF

検索

[コンペティション部門]

PFFアワード2014

PFF Award 2014

最終審査員5名は決定次第、HPにて発表します。

第36回 PFF

検索

あなたの投票で決まる「観客賞」に参加しよう！

21作品が競うコンペティション「PFFアワード2014」

※監督の年齢は応募時のものです。
※上映後、来場監督とのトークを予定しています。

PFF Award

H



『流れる』

監督: 橋本将英 (16歳/福岡県出身)

心があれば、言葉はいらないはずだった

すぐそばを川が流れる公園で暮らす少年。彼はある時、傍らに置かれた小石の存在に気づく。小石と共に、公園と川との間の狭い空間を転々と行き来する少年。しかし、ある時小石は忽然と消えてしまう。一切のセリフを排し、たったひとりの登場人物と彼の所持する石との不思議な関係を描く。



『還るばしょ』

監督: 塚田万理奈 (22歳/長野県出身)

日常の中で少しづつ溜まっていく澱を、いま

歯科衛生士として働くちかげは毎日を淡淡と過ごしている。女友達の家に泊まりに行く彼氏を許し、付き合つている意味を同僚からも問われ、姉には「ちかげってなんかつまんなそーだよね」と言われても、それが幸せとも感じていなかった。そんな日常が少しづつ、ちかげ自身を受け入れさせなくなっていく…。



『Super Tandem』

監督: 小林勇貴 (23歳/静岡県出身)

若さと善意と衝動が承認欲求を求めて暴走

自警団を結成した大石と悪友荻田。万引き犯を敗成する粹な思い。人のために、善のために動けるか。監督は地元富士宮の若者に愛を持って、時に自虐的な演出で見事描き切った。



『ネオ桃太郎』

監督: 小田 学 (33歳/埼玉県出身)

各自のエゴが激突！現場は修羅場と化す…

大学の映画サークルの熱き連中が廃工場で撮影中…撮影監督はサークルOBで扱いづらい。現場で女口説きタイトルは「ネオ桃太郎」だ！が！監督は夢中過ぎて周囲にいる奴がいる…さまざまな撮影アルルを乗り越えりが見えてない。主演は無闇に役に入っている。さて、「ネオ桃太郎」は完成できるのか…？



『モーターズ』

監督: 渡辺大知 (23歳/兵庫県出身)

俺の脳内に『BE MY BABY』が流れた

田舎の整備工場で働く田中は、うだつのあがらない日々を過ごしている。新入りのタケオもバイトを始めたが…不器用だけれど愛らしい人間模様が映画の時間を充たしていく。

第23回PFFスカラシップ作品『過ぐる日のやまねこ』プレミア上映
PFF Scholarship Films

PFFが企画から劇場公開までをトータルプロデュースする映画製作支援システム「PFFスカラシップ」。

『くじらのまち』でPFFアワード2012グランプリとジェムストーン賞(日活賞)をW受賞した鶴岡慧子監督による、スカラシップ最新作『過ぐる日のやまねこ』を初お披露目します！



監督: 鶴岡慧子 (つるおか・けいこ)

1988年生まれ、長野県出身。立教大学の卒業制作「くじらのまち」はPFFアワード2012入選後、ベルリン国際映画祭をはじめ世界10ヶ国以上で上映。



『過ぐる日のやまねこ』

2014年/90分(予定)/カラー

監督: 鶴岡慧子／出演: 木下美咲、泉澤祐希、植木祥平、中川真琴、田中隆三

東京の喧騒から逃れるように、かつて暮らした田舎町に辿り着いた時子と、そこで孤独な毎日を過ごす高校生の陽平。身近な人の死に囚われ続ける二人が出会い、やがて明らかになる眞実とは…。未来に希望を見出す人間ドラマの誕生！